

わだち

LOGISTEED
Public Relations Magazine
July 2025 vol.462

2025 夏号



特集

物流の未来を

切り拓く

ダブル連結トラック

達人ノ音パラ水泳選手

佐藤 悠人

ロジスティード陸上部選手たちの
ON&OFF

四釜 峻佑



藩窯の秘密が漏れるのを防ぐために設けられた鍋島藩の関所跡



伊万里焼の磁器タイルや白磁の壺で装飾された鍋島藩窯橋

「IMARRI」海を渡った焼物

になり、ヨーロッパでは「シノワズリ」(中国趣味)として大流行しました。
ところが17世紀中頃、明から清への王朝交代の動乱によって中国陶磁器の輸出が途絶えてしまいます。そこで、がぜん注目を浴びたのが、美しい磁肌と華やかな絵付けが特長の伊万里焼でした。それらは「IMARRI」と呼ばれヨーロッパの上流階級を大いに魅了します。名門マイセン窯の図案にインスピレーションを与えた存在としても有名です。

そして、鎖国中の江戸時代に行われた長崎・出島からの輸出において、梱包方法も日本ならではの丁寧なものでした。当時、伊万里焼の梱包はわら包装。荷師という専門の職人が絡げる精緻なわらの荷造りは、独特の形、スタイルで伊万里焼を長距離の輸送から守りました。

一説には、浮世絵などの刷り物も伊万里焼の緩衝材に使われ、それが西洋人の目に留まり、日本の浮世絵や「ジャポニズム」ブームの一助になったともいわれています。安土桃山時代から日本の磁器市場を席捲した佐賀の焼物は、そうした包装材や梱包技術も相まって、海外でも珍重される格別な存在になったのです。



Contents

特集

04 物流の未来を切り拓く
ダブル連結トラック

SDGsエコレシビ

10 そうめんチャンプルー

達人ノ音

11 パラ水泳選手
佐藤 悠人

ロジスティード陸上部選手たちのONとOFF

14 四釜 峻佑

18 Topics

19 編集後記

表紙

秘密の里「伊万里大川内山」の町並み(佐賀県伊万里市)

お問い合わせや感想はこちらまで
わだち編集事務局:wadachi@logisteed.com

*「わだち」の無断転載はご遠慮ください。
*本誌内においては会社名の敬称を略しておりますので
何卒ご了承ください。

ロジスティード広報誌
わだち 2025夏号
2025年7月1日発行

編集発行人 金田 陽子
発行所 ロジスティード 株式会社
〒104-8350 東京都中央区京橋2-9-2
Tel.03-6263-2803
印刷所 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ

物流の未来を切り拓く ダブル連結トラック

省人化、環境面にも 配慮できる取り組み

大型トラックにトレーラを連結し、全長25mとなるダブル連結トラック。イオングループは2025年2月、グループ初の取り組みとして九州地区の商品輸送の一部にダブル連結トラックを取り入れた。

運用区間は、佐賀県鳥栖市にある物流センター「イオン九州RDC」と熊本県八代市にある「イオン九州FDC」を結ぶ約134kmの幹線輸送だ。九州自動車道を通るルートとなる。

狙いは、持続可能で生産性の高い物流の実現をめざしていくことにある。物流業界では2024年に施行されたトラックドライバーの時間外労働上限規制に加え、ドライバー不足、高齢化などによって輸送能力の低下が懸念されている。必要な対策を行わない場合、2030年には約34%の輸送能力の不足が起きるといふ調査結果も出ている。ダブル連結トラックは大型トラック2台分の貨物を1台で輸送できるため、ドライバー不足の対応策として期待されている。またCO₂排出量も約40%の削減が見込まれ、環境面でも温暖化防止に寄与できる取り組みとなる。



国土交通省も 後押しする取り組み

国土交通省もダブル連結トラックの導入を後押ししている。2016年、当時の制限基準であった全長21mのダブル連結トラックを運用する実証実験を始め、2019年には特殊車両通行許可の規制緩和を行い、25mまでの長さの車両が運行可能となった。

ただ、ダブル連結トラックはどこでも走行できるわけではなく、国土交通省が定める高速道路の対象路線のみとなる。現在は北海道から九州まで計6330kmが対象路線となっている。また、高速道路インターまでの一般道通行は最小限にしなければならない。

これまでの実証実験の結果によれば、同じ重量の貨物を輸送する場合、従来の全長12mの大型トラックの平均輸送量10・9tに対し、21m超のダブル連結トラックの平均輸送量は22t。1000t/kmあたりの燃料消費量はそれぞれ大型トラック21・6L、ダブル

イオングループ初の25mダブル連結トラックの運行が2025年2月から始まった。委託を受け、実際に商品輸送を行っているのはロジスティード九州(株)だ。物流業界全体の課題でもある高効率物流の実現に向け、対策の切り札として注目されるダブル連結トラックについて、現場で話を聞いた。

佐賀県鳥栖市のイオン九州RDCと熊本県八代市のイオン九州FDCを1日1往復しているダブル連結トラック。全長は25mある。運行開始は2025年2月17日。出発式のセレモニーも行い、注目度の高さからメディアの取材も多数入った。

物流改革のため 連携していく

連結トラック12・2しとなった。物流の未来を切り拓く対策の一つとなるダブル連結トラック。実際の現場ではどのように運用されているのか、今回のイオングループの導入事例をさらに掘り下げていく。

4社の役割分担で 導入を実現

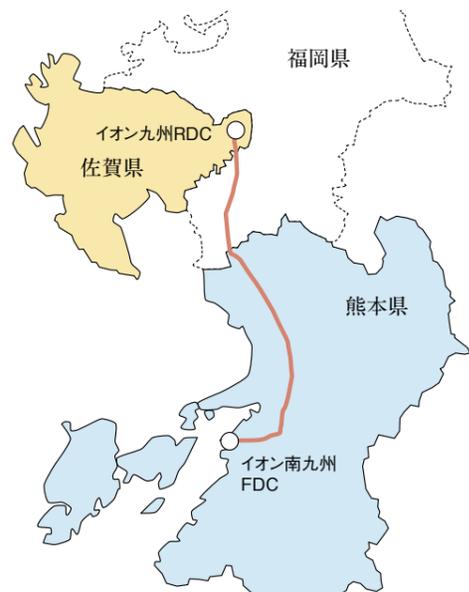
今回のイオングループのダブル

連結トラック運行は、荷主であるイオン九州(株)、イオングループのサプライチェーンマネジメントを担うイオングローバルSCM(株)、業務委託を受けて実際の物流を担うロジスティド九州(株)、イオングローバルSCM(株)に対するコンサルティングやロジスティド九州(株)へ車両をリースするNEXT-Logistics Japan(株)が協力し、実現している。



イオン九州RDCで行われているダブル連結トラックの連結作業。手前はカブラーと呼ばれるトレーラとトレーラをつなぐ連結部分。ドライバーは車載カメラのモニターを見ながらバックで連結する。

*「Commercial Japan Partnership Technologies」輸送業の課題解決やカーボンニュートラル社会実現への貢献をめざすために立ち上げられ、いすゞ自動車(株)、日野自動車(株)、トヨタ自動車(株)、スズキ(株)、ダイハツ工業(株)が参画。



九州自動車道を走行する運行ルート

イオングローバルSCM(株)ソリューション企画本部SCM物流改革部配送改革チームマネージャーの塩野雅規さんはそのはじまりについて、「私が九州で勤務し、配送改革を担当していた時、輸送業が抱える課題の解決を図ろうとトヨタ自動車や日野自動車など自動車メーカーが加盟してつくる会社「CJPT(株)」の担当者から、ダブル連結トラックのことを教えてもらったことがきっかけでした」と話す。

「実際の運行はロジスティド九州に委託しています。イオン九州RDCからイオン南九州FDCへのトラック輸送は10トトラックを1日12便出していました。そのうちの2便をダブル連結トラックに変更しました」と塩野さん。

運行が始まり、3カ月ほど経った時点で見えた課題を塩野さんに尋ねると「主な積み荷はドライグロサリーと呼ぶ、常温で運べる飲料や加工品、菓子類などです。手押しのカゴ台車に入れて積み込むのですが、後方扉から出し入れをするため、連結したトレーラを外し、それぞれ物流センターのバスに付けなければならず、時間がかかります。このトレーラ脱着にかかる時間が課題です」と話して

くれた。

イオン九州RDCからイオン南九州FDCへの輸送時間は2時間20分程度。その時間に対し、脱着だけで1時間弱の時間がかかったりすると、ドライバーさんの負担にもなります。ダブル連結トラックの効率的な活用としては、400〜500kmといった長距離区間を運行し、荷物の積み降ろしを手押しのカゴ台車ではなくパレットを使うことです。これによってウイングサイドパネルを開閉し、フォークリフトによる作業が可能になるため、作業効率が向上し、負担も減るのではないかと感じています」

今後はより効率的な使い方を模索し、他企業の商品との混載など



トレーラの連結・脱着も甲斐さんが行う「だいぶ慣れてきましたが、雨の日は大変です」と話す

も検討していく予定です。九州には地元の小売企業などが参画する「九州物流研究会」があり、「競合同士でも連携できることは連携する」ということを進めている。そういった場でダブル連結トラックの運用についても協議していく。

高度な運転技術が 求められる

実際にダブル連結トラックを運転しているドライバーはどんな感

想を持っているか、ロジスティド九州(株)九州第二営業部鳥栖第三営業所の担当操縦士甲斐康文さんにも話を聞いてみた。

甲斐さんのロジスティド九州でのドライバー歴は10年ほどで大型免許、けん引免許を持つ。

「今回のダブル連結トラックの運転にあたり、まず外部で行われる安全教育講習会に参加しました。運転の難しさはやはり右左折です。ほかの車両がないか、ミラーとカメラで確認しますが、車両が長いぶん細心の注意が必要です。また、高速道路のインターに行くまでの一般道で、交差点の左折時に停止線を越えて停まっている車が対向車線にいると曲がれない場所があり、そこが難しいところですね」と甲斐さんは運転の難しさを教えてくれた。



ロジスティド九州(株)九州第二営業部 鳥栖第三営業所の操縦士 甲斐 康文さん



イオン九州RDCから鳥栖インターチェンジまでの一般道は誘導車が先導する

イオン九州RDCを出発するダブル連結トラック(写真後ろ)と誘導車





吉野ヶ里歴史公園

吉野ヶ里遺跡は神埼市と吉野ヶ里町にまたがる弥生時代の大規模遺跡。魏志倭人伝に記された「邪馬台国」を彷彿とさせる建物跡などが発見され、大きな話題となった。現在は歴史公園として整備され、復元された建物や集落跡、史料などを見学できる。公園併設のレストランでは弥生時代をイメージし、佐賀の食材にもこだわった限定メニュー「古代貝汁御膳」も味わえる。
 ④佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1843(吉野ヶ里公園管理センター)



虹の松原

唐津湾の海浜に続く虹の松原は、日本3大松原の一つ。長さ約4.5km、幅約0.5kmにわたり、約100万本のクロマツが群生する。17世紀初め、防風・防潮のため、海岸線の砂丘にクロマツが植林されたことがはじまりとされる。かつて豊臣秀吉がこの松原を通った際、セミの声を「騒々しい」と叱り、その時以来、セミの声が絶えたという伝説など、「七不思議」とされるさまざまな伝説もある。
 ④佐賀県唐津市東唐津から浜玉



呼子のイカの活造り
 イカシューマイ
 ご当地バーガー
 「からつバーガー」
 アイスのブラックモンブラン
 おいしい佐賀名物です!



交通安全ガール

伊万里市大川内町の各所に立つ交通安全人形「安全ガール」には名前がつけられている。この安全ガールはしよりちゃん。
 ④佐賀県伊万里市大川内町各所

松浦一酒造株式会社

佐賀県伊万里市にある酒蔵 松浦一酒造の創業は1716年。地元で愛されながら真摯な酒造りに取り組む。この蔵元には昔から「何か珍しいものがある」という言い伝えがあったが、1953年、母屋の屋根の葺き替え工事中に梁の上から奇妙な動物のミラを取った箱が見つかった。箱には「河伯」と墨書きされており、酒造りに欠かせない水の守り神 カッパのミラとして大切に祀るようにした。一般の来訪者でも酒蔵見学とともにこのカッパのミラも拝むことができる。
 ④佐賀県伊万里市山代町楠久312



呼子のイカ、朝市

新鮮な海の幸、とくに「イカの活造り」で有名な港町 佐賀県唐津市呼子町。町に数多くある料理店では、手早く捌かれ、透明なまま盛り付けられるイカの活造りや天ぷらなどを味わえる。お手製のスルメイカを販売する露店もある。また、「呼子の朝市」は日本三大朝市の一つに数えられ、元日を除く毎日7:30～12:00に開催されている。
 ④佐賀県唐津市呼子町呼子4185-15(呼子観光案内所)



注目度の大きさを 実感します

3月末時点で全国の高速道路に計187か所の駐車マスが整備された。

現在、ダブル連結トラックの運転をしているドライバーは甲斐さんだけで、週5日ある勤務日は午前中にイオン九州RDCを出発してイオン南九州FDCまで行き、積み荷を降ろして夕方前にイオン九州RDCへ戻るというサイクルで運転をしている。イオン南九州FDCでのトレーラの脱着、荷物の積み降ろしには2時間程度かかるそうだ。

環境整備も普及のカギに

「まさか自分がダブル連結トラックを運転するとは思っていませんでした。ただ、今後は増えていくでしょうし、その時は自分が教える側になるので、今はしっかりと、安全に運転することに集中しています」と話してくれた。

またダブル連結トラックの運行には特殊車両通行許可が必要となり、走行実績のない運行区間での許可取得まで数カ月かかる場合もあるという。さらに、高速道インターまでの一般道には誘導車をつけなければいけないケースも出てくる。

一方で、ダブル連結トラックを走らせると注目度は高く、ドライバーの運転技術向上にもつながる。「会社のアピールにもなりますし、社内のドライバーの中にも興味を持つ者が出てきています」と話すのは鳥栖第三営業所



ダブル連結トラックの導入について話を聞かせてくれたロジスティード九州株 九州第二営業部 鳥栖第一営業所の安藤 秀明所長(右)と同 鳥栖第三営業所の清水 友和副所長(左)

業所副所長の清水 友和さんだ。今後、持続可能な社会の実現のためにも、ダブル連結トラックの導入は有効な手段の一つとなる。イオン九州株やロジスティード九州株の試みの進化も注目されていくはずだ。

ロジスティード九州株式会社 九州第二営業部 鳥栖第一営業所 「イオン九州RDC」を拠点に業績を伸ばす

ロジスティード九州株は1953年に創業、九州エリアに根ざした3PL(サードパーティ ロジスティクス)事業と重量機工事業で基盤を築いてきた。従業員数は1,731名(2025年3月末)、九州全域に計45の拠点を構える。

その拠点の一つ、鳥栖第一営業所は2002年にイオングローバルSCM(株)専用の物流センターとして開設された営業所だ。センター名称は「イオン九州RDC」で、イオン28店舗の店舗配送からスタートした。

その後ホームセンターや自転車販売店などさまざまな業態の物流業務を請け負うようになり、現在では九州北部全域の156店舗をカバーしている。また配送センターである「福岡LC」と「イオン南九州FDC」を結ぶ幹線輸送も行っている。

鳥栖第一営業所の安藤 秀明所長は、

営業所の特徴として「2002年の立ち上げ当時から働いている従業員も多いです」と話す。安藤所長自身もその一人だ。「私は契約社員としてここで働き始め、その後社員になり、別の営業所勤務も経験しましたが、3年ほど前に所長に就任しました」

働きやすい職場づくりを心がけ、今年は熱中症対策の一環で大型シーリングファンの取り付けを行った。ほかにも折りたたみコンテナの片付け場所が屋外だったため、直射日光を避ける屋根の設置を行うなどした。「労働安全衛生活動の優秀さが認められ、2022年に佐賀労働局から表彰されました」と安藤所長。

また、鳥栖第一から第四までである営業所との連携がいいことも特徴だ。貨物量が一時的に増加した営業所に従業員の応援を出し、臨機応変に対応しているという。



鳥栖第一営業所の事務所入り口前に立つ従業員のみなさんと安藤所長、鳥栖第三営業所の清水副所長

DATA	
住所	佐賀県鳥栖市弥生が丘7-32
電話	0942-81-4880
従業員数	194名(協力会社含め514名)

第9回

「わだち」は漢字で書くと「和達」とあてています。この「達」にちなんで各分野の達人を紹介していきます。



パラ水泳、世界の大会で活躍していく

パラ水泳選手
佐藤 悠人さん

障がい者スポーツのパラ水泳で知的障がいがあるクラスに出場し、100m平泳ぎ競技で結果を出しているのが佐藤悠人さん。2023年に中国で開催されたアジアパラ競技大会の100m平泳ぎでは銅メダルを獲得した。また、ロジスティード東日本株式の従業員でもあり、平日は午後6時まで勤務し、その後プールへ行き、6000mほど泳ぎこむなど練習に励む。佐藤さんにパラ水泳との向き合い方、仕事への思いを尋ねてみた。

ロジスティードグループ保養所
サン・アンド・サン荘 伊豆高原
料理人が教える



vol. 9

今回の余りもの食材は…

そうめん

そうめん チャンプルー

涼を呼ぶ食事として夏の風物詩になっているそうめん。贈答品の定番にもなっているだけに持て余してしまつても、いつもと違う食べ方で消費の機会を増やせたら、ということなどで簡単に作れるレシピを教えてくださいました。



作り方

- 1 ボウルにAの材料をすべて入れ、混ぜ溶かしてスープを作る。
- 2 サラダチキン(茹で鶏)を手で細かくさく。
- 3 野菜を千切り、薄切りにして食べやすい大きさに切る。
- 4 フライパンにサラダ油を引き、おろしニンニクと②と③を入れてコショウを振り、軽く炒め合わせたら①を入れる。
- 5 鍋にたっぷりの湯を沸かし、そうめんを商品の指示より30秒くらい短めの時間で硬めに茹でる。
- 6 ⑤をザルに上げて④に移し、具材を混ぜ合わせたら器に盛り、刻みネギを散らして、茹で卵をのせる。

そうめんは、小麦粉に水と塩を加えてこねたのち、植物油を塗ってよりをかけながら引き延ばして極細麺に仕立て、乾燥・熟成させています。さっぱりとした喉越しによる清涼感を求めて冷水中に浮かべて食べることが一般的です。でも、沖縄ではそうめんを炒めるチャンプルーが有名。具材は家庭によって変わるようですが、野菜とお肉、お肉がなければハムやツナ、あるいは冷凍シーフードなど、とにかく冷蔵庫の中で半端に余っている食材の何を使ってもおいしく食べられます。上手に作るコツは、そうめんを茹で過ぎないこと。やわらかいと炒める時に切れやすくなってしまふからです。また、麺がくっつきやすいので、茹で上がって水を切つ

材料

- (2人分)
- 沖縄のそうめんチャンプルーのように、鰹出汁に醤油を加えたり、簡単にめんつゆで味付けしても良いですよ。
- A 溶かしスープ
塩小さじ1/2、鶏ガラスープの素小さじ1/2、炒り胡麻大さじ1、料理酒大さじ2
- そうめん2束
 - サラダチキン(茹で鶏)1/2パック
 - 冷蔵庫内の余り野菜 (もやし、白菜、キャベツ、にんじん、ほうれん草、小松菜など) 合計約00g
 - おろしニンニク小さじ1/4
 - コショウ少々
 - サラダ油大さじ1
 - 刻みネギ適量
 - 茹で卵1個(半分に切る)

野菜をおいしく保存する

水分を保つために乾燥を防ぐこと

使いかけなら切り口にラップをしてから全体を湿らせた新聞紙やキッチンペーパーなどで包みます。冷蔵庫では横にしてしまいがちですが、通常の姿勢に戻すためにエネルギー(栄養)を使ってしまうので、できれば横に包むと良いでしょう。また、気温が20℃を超えるとカビや虫が発生しやすくなるので、開封後はジッパー付き保存袋や密閉容器に入れて冷暗所や冷蔵庫で保存するようにしましょう。





認知度が高まってきた パラスポーツ

身体機能や知的発育などに障がいがある人が行うスポーツは広く「パラスポーツ」と呼ばれる。4年に1度、オリンピックとともに開催されるパラリンピックも大きく注目されるようになった。

そのパラスポーツの中のパラ水泳で活躍する選手の一人が、佐藤悠人さんだ。得意とする種目は100m平泳ぎ。軽度の知的障がいがあり、パラ水泳競技大会では知

個人競技の水泳が 向いていた

障がいの平泳ぎクラスを意味する「SB14」クラスで出場している。

本格的に水泳を始めたのは宮城県立支援学校岩沼高等学校の2年生の頃だ。24歳の時、2023年10月に中国杭州で開催された「杭州2022アジアパラ競技大会」に出場し100m平泳ぎで銅メダルを獲得した。また、同年6月にフランス ヴィシーで開催された「ヴィシー2023 Mastersグローバル

ルゲームズ」でも3位となった。

現在は日本知的障害者水泳連盟国際大会強化指定選手（A指定選手）として強化合宿などにも参加し、2025年3月にスペイン・バルセロナで開催されたパラ水泳ワールドシリーズ大会へ出場選手として派遣された。2025年9月にシンガポールで開催される世界パラ水泳選手権大会出場を目標に、最終選考会通過をめざして練習に励む日々だ。

「もともと水泳は小学1年生の頃に始めました。近所のスイミング教室に通ったのですが、その後、家の引越で辞めてしまっていて、いったん水泳から遠ざかりました。中学ではソフトテニス部に入って、岩沼高等学校に進学後は卓球や陸上をやっていました」と佐藤さんは自身のスポーツ歴を話す。

「でも自分には個人競技が向いているかなと、もう一度、水泳を始めたのが高等学校2年の頃です。学園には水泳部がなかったので、仙台市内のスイミングスクールに入校しました。始めの頃は大人向けのマスターズクラスで週に3日くらい泳いでいました」

日々の練習で9000m 泳ぐことも

今は同じスイミングスクールの

ありますが、仕事は楽しいです」

佐藤さんが働く職場のリーダーである伊東優さんは「真面目な性格で、任せた仕事は完璧にこなしてくれるので頼りにしています。扱うものが化粧品なので液体ものが詰まった箱だと1箱が20キロ近い重さになることもあります。本当に大変な職場なのですが、いつも気を利かせ、仕事を先読みしながら従事してくれるので助かります」と話す。

ただ、佐藤さん本人が「コミュニケーションを取るのには苦手」と言うのとおり、水泳のことを職場で話すことはほとんどないそうだ。「海外の大会に出場して、いい成績を出したりして、その結果だけを後から聞いて驚くこともあります。これからも期待される選手ということで、職場を挙げて応援していきたいと思います」と語ってくれた。

メキシコへ一人旅にも

佐藤さんには行動派の一面もある。昨年は貯まっていた航空会社のマイルを使ってメキシコへ一人旅に出掛けた。「行き先はアメリカでも良かったのですが、物価が高いのでメキシ

マスターズと選手クラスの両方に所属し、オフ日の水曜日以外毎日、スクールに通っている。

「平日は仕事が午後6時までであるので、その後にバスと地下鉄を乗り継いでスクールへ行って、午後8時頃から1時間、2時間の練習をします。2時間練習の時は600mほど泳ぎます。週末は朝と午後の2回練習します。週末の練習はジムで筋トレをすることも多いです」

練習をすれば結果が出る

佐藤さんの100m平泳ぎのベストタイムは2024年11月に国内大会で記録した1分8秒96。2023年のアジアパラ競技大会の決勝で銅メダルとなった時のタイムが1分10秒38だったので、順調に記録を更新している。

水泳の魅力について尋ねると、「練習をすれば結果が出る」と



2023年10月に中国 杭州で開催された杭州2022アジアパラ競技大会では100m平泳ぎで銅メダルを獲得。国際大会ともなると会場の観戦客も多く、がんばる気力が湧くという。



化粧品会社の商品のピッキング作業が主な業務で、時には重量物もあり大変な作業だ。堅実で確実な仕事ぶりで職場での信頼は厚い。

コにしました。(首都の)メキシコシティに3日ほど滞在して帰ってきました」と事も無げに教えてくれた。スペイン語圏のメキシコでは「スマホの翻訳アプリを使ってなんとかなりました」という。

国際大会の出場機会が増え、海外に行くことも増えたが、それぞれ訪問先の国の食事を楽しむ。メキシコではタコスがおいしかったです。大会出場で行った国の中ではマレーシアの料理が気に入りました」と話す。

これからも記録の更新と国際大会での入賞、そして仕事面も「健康に気をつけて、休まない」ことが目標だと、佐藤さんは笑顔で教えてくれた。



会社への通勤時の私服。「おしゃれさんなんですよ」と上司にあたる業務課 課長の滝井 隆市さん。佐藤さんにそのことを伝えると「そんなことはないですよ」と照れ笑っていた。

佐藤さんは話す。

「もともと自由形から始めたのですが、平泳ぎのタイムが良かったので、競技では平泳ぎを専門にするようになりました。タイムを縮めるため、キックと下半身から上半身への体重移動、重心移動をスムーズにすることを意識するようになっています。最後の25mはきつくなりますが、その苦しさを乗り越えていくことを考えながら泳いでいます」

憧れの選手は、東京2020オリンピックの男子100m平泳ぎで金メダルを獲得したイギリスのadam・ピーティさん。「ピーティ選手の泳ぎのスピードに憧れます」

と教えてくれた。

職場で頼られる存在に

佐藤さんはパラ水泳選手として活躍する一方、ロジスティード東日本(株)に所属し、東日本地区本部東北営業部東北物セン営業所で勤務している。岩沼高等学校からの推薦を受け、同学園を卒業後の2018年に入社した。平日午前9時から午後6時までの勤務で倉庫でのピッキングや荷捌き作業などを行っている。

「今は化粧品会社の商品のピッキングなどを行っています。細かいもの、また重量があるものがあったりして、体力的に大変なことも

さとう ゆうと ●宮城県仙台市出身。パラ水泳選手。ロジスティード東日本(株)所属。軽度の知的障がいがあり、子ども時代を過ごした宮城県 亘理町、仙台市の地元の小・中学校を卒業後、宮城県立支援学校岩沼高等学校に進学。同学園を卒業後、2018年にロジスティード東日本(株)に入社し、東日本地区本部 東北営業部 東北物セン営業所で勤務する。2025年度の日本知的障害者水泳連盟 国際大会強化指定選手(A指定選手)に選ばれている。

子どもの頃の思い出や陸上を始めたきっかけは？

4人兄弟の末っ子で、兄と姉2人がいるのですが、みんな陸上をしていてその影響で幼い頃から走り始めました。小学2年の時に初めて地域のマラソン大会に出て、小学5年生の時には小学生の部門2キロの大会で優勝しました。結果を出せた時はやっぱりうれしかったです。

小学6年生の時には1年間だけ地域の陸上クラブにも入っていました。

地元の中学（山形県長井市）に進学してから、陸上部に入部しました。実はサッカーや野球にも興味があって、陸上部に入るか、サッカー部が野球部にするか、最初はちょっと悩んだのですが、陸上クラブの友達が陸上部に入部することを決めていて、「お前は入らないの？」という感じになって、入ることにしました。中学3年生の時、県大会の1500mで4位になり、東北大会に出場したことが思い出です。

「キャプテンとして、チームを引っ張る存在になつていきたい」



順天堂大学時代には箱根駅伝でも活躍した四釜峻佑さん
ロジスティード陸上部には2023年4月に入部
2024年には全日本実業団ハーフマラソンで優勝を果たしました
この2025年4月には陸上部キャプテンに就任
陸上との向き合い方やこれからの意気込み、チームの目標を聞きました

スポーツの経験は？

幼稚園から小学校までの7年間、スイミングスクールに通っていました。山形なので冬にはスキークラブに入ってスキーをしていたこともあり、小学校の時は休み時間も外で友達とよく遊び、サッカーなどの球技を観るのも好きでした。

箱根駅伝5区出場

中学を卒業後は山形中央高校、そして順天堂大学に進学しました。大学では陸上競技部に所属し、3年と4年生の時、箱根駅伝の5区で出場することができました。3年生の時には総合で準優勝したのが一番の思い出です。子どもの頃、父親と一緒にテレビで箱根駅伝を観戦して、柏原竜二選手が「山の

神」と呼ばれて活躍するのを見て憧れていたもので、同じ5区で走れたことは感慨深かったです。そして今はロジスティード陸上部と一緒に走っている細谷翔馬さんが、帝京大学4年生で、私が3年生の時に同じ5区を走っていたんですよ。

今は本当によく話しをしますし、いろいろ教えてもらっています。同じ学校ではなかったですが、学年としては細谷さんが1年先輩で、中学の頃から全国大会に出るなど、県内で有名な選手でした。一方的に知っていただけですが、今は同じチームにいるなんてびっくりです（笑）。

2025年4月、陸上部のキャプテンに就任

今年2月頃に打診されました。ロジスティード陸上部に入部して3年目で、まさか声が掛かるとは思っていなかったです。

そもそも私がロジスティード陸上部に入部したのは、大学時代、順天堂大学で行っている陸上記録会にロジスティード陸上部の選手が参加し、コーチも来ていたことがきっかけです。その時、私の走りをコーチが見て、大学の監督に入部を打診してくれました。ロジスティード陸上部には山形県出身の選手が何人かいたり、（走るための）環境が良さそうだったので入部を決めました。

キャプテン就任を打診され、今はチーム全体が若返りを図っているタイミングで、自分がチームを引っ張っていく存在にならないといけないんだと思っていたので、引き受けることにしました。

「自分のできるのか？」という気持ちより、「キャプテンとしてがんばりたい」という気持ちが大きかったです。ロジスティード陸上部は上下関係の厳しさはあまりなく、選手それぞれの自主性が重んじられてのびのびと走れるチームです。時には厳しさも必要ですが、私自身、行動や走りやチームを引っ張っていきたくて考えています。



し
四

ロジスティード陸上部
選手たちの
ONとOFF
vol. 8
Shunsuke Shikama

かま
釜

しゅん
峻

すけ
佑

オフィスワークはどんなことを担当していますか？

今年4月からはロジスティード 東日本(株)の東京上野にある本社で週に2日、午前10時から午後2時まで勤務しています。管理統括部で従業員の保険証や年金手帳の提出確認などを担当しています。その



の日任された分量で作業ノルマを自分で決め、それを達成できるとうれしいです。また、職場の方がお昼に誘ってくれるので、上野、御徒町エリアのランチを楽しんでいます。



応援では「しかまー!」と呼んでください

職場のみなさんは応援してくれますか？

大会出場や合宿で出勤できないこともあるのですが、いつも本当によく応援してくれます。2024年の全日本実業団ハーフマラソンで優勝した時は祝勝会を開いてくれました。うれしかったです。今年5月の仙台国際ハーフマラソンに出た時も、レースの後半で従業員のみなさんが応援してくれて

いる姿を見つけて、ものすごくうれしくなって、少し手を挙げて応援しました。応援は力になります。応援に来てくださった時には「しかまー!」と、名前の呼び掛けがうれしいです。名前の「しゅんすけ!」での声援でもいいのですが、「しかま」姓は珍しいので、すぐに聞き取れます。

大会前のゲン担ぎはありますか？

プリンを食べることです。プリンはコンビニに売っている普通のプリンです。大会前に糖分を摂取するという意味合いもありますが、もう一つ理由があって実家を離れて寮生活だった大学時代、大好きだった祖母が亡くなりました。その

の葬儀の帰りに新幹線の中で食べた叔母が買ってくれた焼きプリンの味が印象に残っていて、悲しい気持ちの時に食べたプリンがなぜか無性においしく、忘れられない味になり、それが自分のゲン担ぎになりました。

陸上部として今年度の目標は？

ニューイヤーズ駅伝で8位入賞です。部員それぞれ、個人的に狙う大会や試合は別で、練習メニューも違うのですが、この4月からは監督にお願いをしてそれぞれの練習メニューの意図を深く説明してもらおうようにしました。部員もそれぞれ、その日なぜその練習をするのかを考えるようになり、結果的に走る量も増え、私たちが「脚づくり」と言っている体力づくり、スタミナづくりにつながっています。ニューイヤーズ駅伝に向けて、みんな「負けたくない」という意識になっています。



個人の目標は？

キャプテンとしてはチームを引っ張り、ニューイヤーズ駅伝に貢献することです。個人的にはマラソンで2時間5分台を出し、MGC(オリンピック代表選手選考会となるマラソン大会)への出場権を獲得することが目標です。座右の銘は大学の理念で掲げられていた「不断前進」です。現状に満足せず、常に高い目標をめざして努力し続ける姿勢のことで。陸上にはこれからもずっと関わって生きていきたいと考えています。

趣味やオフの日の過ごし方は？

星野源さんのオールナイトニッポンが好きで、いつも聴いています。そこからラジオが好きになって、移動中やストレッチをする時家事をする時などにも聴いたりしています。

練習がないオフの日は日曜日だけなのですが、映画鑑賞をしたり、チームメイトや大学時代の友人たちと飲みに出掛けたりしています。居酒屋での飲み会も好きです。



しかましゅんすけ●2001年生まれ、山形県長井市出身。山形中央高校、順天堂大学卒業。順天堂大学陸上競技部では3年・4年生時に箱根駅伝5区で出場。2023年4月、ロジスティードに入社し陸上部に所属。2024年2月、第52回全日本実業団ハーフマラソンで優勝。2025年4月、陸上部キャプテンに就任した。

2社協創による 中継長距離輸送を開始

ロジスティード(株)は、福山通運(株)と協創し、中継地点でトラックの交換をする「トレーラー・トラクター方式」による中継長距離輸送を開始しました。異なる物流会社による中継輸送に取り組み、両社の長距離輸送における課題解消をめざします。福山通運(株)は関西発・関東方面への貨物が圧倒的に多く、一方でロジスティード(株)は関東発・関西方面への貨物が多いことから、両社の運行を組み合わせることで物流の効率化を図り、トラックドライバーの負荷軽減へとつなげます。2024年12月のトライアル輸送を経て、このたび本稼働となりました。



「自動物流道路の実装に向けた コンソーシアム」に参画

ロジスティード(株)は、高速道路の中央分離帯に設けた専用スペースなどで貨物輸送の無人化・自動化の実現を検討する「自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム」に参画します。このコンソーシアムは「自動物流道路」の実現に向けて国土交通省が設置した事業体で、物流事業者や荷主企業、建設業、金融業など約80社が参加し、道路の事業性や実装に向けた技術開発、インフラ整備のあり方を検討していきます。

ロジスティードはビジネスモデル分科会とオペレーション分科会において、3PL事業者として培ってきた自動荷役に関する技術や包装設計・開発のノウハウを生かし、「自動物流道路」での搬送機器による安定的な輸送に向けた議論を参画企業とともに進めています。



「QRコード」を読み取ると、ロジスティードのWebサイトから詳細がご覧いただけます。「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PT.BERDIRI MATAHARI LOGISTIKが 輸出入業務でハラル認証取得

インドネシア現地法人のPT.BERDIRI MATAHARI LOGISTIK(以下、BML)が、インドネシアのハラル認証機関であるウラマー評議会食品・医薬品及び化粧品研究所(LPPOM-MUI)からインドネシア発着の海上・航空輸出入業務プロセスにおいてハラル認証を取得しました。インドネシアでは、2024年10月より、国内で流通・取引される食品・飲料などに対してハラル認証が義務化され、対象品目は今後幅広い分野に広がっていくとみられています。指定認証機関の講習を受けた担当スタッフが、ハラルに沿った適切な管理のもと、定められた手順に則り物流業務を実施します。これにより、品質面や衛生面で安全・安心な製品をお届けします。



CLO*組織の活動を支援し 荷主企業の物流改革を加速する 物流DXコンサルティングサービス開始

ロジスティード(株)は、4月1日より、ロジスティードソリューションズ(株)と共同で物流DXコンサルティングサービスの提供を開始しました。オペレーション領域におけるDXソリューションサービスと組み合わせることで、物流DXの構想検討・企画立案から実行計画・改革の具体化まで、荷主企業の物流改革の加速を包括的に支援します。

*CLO(Chief Logistics Officer):企業の物流戦略を統括し、物流業務の効率化や最適化を推進する役割



倉庫運営3Dシミュレーションサービスを 提供開始

ロジスティード(株)とロジスティードソリューションズ(株)は、倉庫運営の効率化と精度向上を実現する3Dシミュレーションサービスを提供開始しました。近年の倉庫運営は多種多様なマテハン機器の登場により、自動化・省人化が進んでいます。一方、倉庫現場では倉庫運営が複雑になり、日々の改善活動における定量的な効果の把握が難しいといった課題があります。ロジスティードグループがこれまで3PLサービスで培ってきたシミュレーションのノウハウを活用して、お客様の倉庫運営の設計から運用開始後の改善活動まで幅広く支援します。



インドネシア スカルノ・ハッタ国際空港において 医薬品輸送品質認証 「CEIV Pharma」取得

PT. BERDIRI MATAHARI LOGISTIKが、5月15日にインドネシアのスカルノ・ハッタ国際空港にてIATA(International Air Transport Association:国際航空運送協会)が推進する医薬品国際輸送に関する品質プログラム「CEIV Pharma*」認証を取得しました。経済成長に伴い、医療・健康分野への関心が高まりつつあるインドネシアでは、医薬品市場の需要が今後ますます拡大していくと見込まれます。ロジスティードグループとしての認証は7カ所目となります。

*「CEIV Pharma」:「The Center of Excellence for Independent Validators in Pharmaceutical Logistics」の略、IATA が世界各国、各地域で異なる GDP (Good Distribution Practice、医薬品流通過程の品質を保証する物流基準) を包括的に網羅する医薬品温度管理航空輸送の品質認証として策定したグローバルでの統一基準

LOGISTEED Hong Kong, Ltd.が 顧客から表彰

LOGISTEED Hong Kong, Ltd.は日立チャネルソリューションズ(株)から、部品の一元輸送とタイムリーかつ正確な集荷情報をHITACHI TERMINAL SOLUTIONS INDIA(HCS-IN)へ提供し、HCS-INのインド工場の生産立ち上げに寄与したと高く評価され、表彰されました。



国内で初めて J-クレジット制度に登録

「共同配送」でCO₂排出量を削減するプロジェクトをJ-クレジット制度に登録しました。「共同配送」を活用したJ-クレジット登録は国内初となります。ロジスティード(株)が環境方針の一つとして掲げる「環境負荷の小さい物流・サービスの提供」や、経営の重要課題(マテリアリティ)として特定する「強靱で持続可能な物流サービスの構築・強化」に沿って、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた施策です。



SBT 認定取得に向け コミットメントレターを提出

ロジスティード(株)は、パリ協定*1が求める水準に整合する温室効果ガスの排出削減目標「SBT (Science Based Targets)*2」の認定取得をめざし、SBTイニシアティブ(SBTi)*3に対してコミットメントレターを提出しました。

*1パリ協定:世界の気温上昇を産業革命前と比べて2℃を十分に下回る水準に抑え、また、1.5℃に抑えることをめざす、世界的に合意された気候変動対策に対する国際的な枠組み
*2 SBT (Science Based Targets):企業が設定する、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガスの削減目標
*3 SBTイニシアティブ(SBTi):CDP、国連グローバルコンパクト(UNGC)、世界資源研究所(WRI)、および世界自然保護基金(WWF)の4機関が共同で運営する国際イニシアティブで、独立した立場で企業の温室効果ガス削減目標の評価を行う



「健康経営優良法人認定制度」 3年連続で認定

ロジスティード(株)は、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。今回、ロジスティード(株)とともにロジスティード東日本(株)、ロジスティード中部(株)、ロジスティード西日本(株)、ロジスティード九州(株)の4社が、3年連続で認定を受けました。



松戸市主催のかけっこ教室に協力

ロジスティード陸上部は4月19日、千葉県松戸市が主催する春の青少年教室「目指せトップスピード!速さのヒミツ解明!かけっこ教室」に講師として参加しました。

当日は松戸市の小学4年生から6年生61名が参加し、走るための基本的な体の動かし方やトレーニング方法などを当社陸上部の選手とスタッフがレクチャーしました。子どもたちは選手の説明を聞き、真剣な様子でトレーニングに取り組みました。



編集後記

物流会社に入社してトラックが身近な存在になりました。実際、自分が運転をすることはありませんが、自社のトラックは愛着が湧くもので、街中を走るトラックを見つくと嬉しくなります。トラックの種類は多種多様で、その違いが判るようになるのも楽しく、ダブル連結トラックについても今回の特集で勉強になりました。今後ますます活躍の場が広がっていくことを期待しています。(金田)

佐賀県出身の方に佐賀といえば何が有名ですか、と聞くと「何もない」とそろって答えが返ってきます。「佐賀県」(はなわ)の曲の印象も強くてそうなのかと思いきや、特集のとおり素晴らしいものがたくさんありました。鳥栖の営業所も雰囲気良く働きやすい職場です。ダブル連結トラックの運転は通常のトラックと違い、運転以外にも必要とされるスキルが多く技術の高さを実感しました。ご安全に!(谷野)

